

『#その女を殺せ (the narrow margin)』(リチャード・フライシャー監督、1952年)をamazon prime videoで視聴した。日経新聞の映画批評で取り上げられていたので、暇に任せて視聴した。B級映画の傑作という触れ込み。リチャード・フライシャーは『トラ・トラ・トラ!』の監督。

B刑事は、殺されたマフィアのボスの妻Nを護衛するべくシカゴを訪れる。組織の帳簿を持っている彼女は裁判に出廷しようとするが、組織は抹殺を企てる。二人で向かった家でB刑事の相棒が殺し屋に射殺される。介抱もできず、警戒は怠らず、念のためにBとN夫人は別々に列車に乗り込む。どうやらマフィアの殺し屋はN夫人の顔を知らないようだ。殺し屋Kが乗務員を買収し、すぐに「荷物を探している」といってBのコンパートメントを訪問。隣の部屋に夫人がいるのだが、Kは乗務員がそばにいるためにそこまで確認せず、とりあえず引き上げる。Bは列車内を偵察。食堂車に入った時、子連れのSという女性と知り合う。殺し屋たちはS夫人をN夫人と勘違いする。実はN夫人は婦人警官が敵の目を欺くための囷に過ぎなかったもので、S夫人こそがN夫人であった。狭い列車内で殺し屋に狙われたN夫人は果たして、無事に裁判所へ向かうことができるのか。70分と映写時間が短く、展開もスピーディで見やすい。

列車内で殺人が起きる映画

1. オリエン特急殺人事件 (Murder on the Orient Express)
 - ・原作：アガサ・クリスティ
 - ・豪華列車で起きた密室殺人を名探偵ポアロが解く古典的名作
 - ・1974年版、2017年版など複数の映画化あり
 - ・列車ミステリーの王道
2. 暗闇の恐怖 (Strangers on a Train / 見知らぬ乗客)
 - ・(アルフレッド・ヒッチコック監督作品)
 - ・列車で出会った二人の男が「交換殺人」を持ちかけるサスペンス
 - ・列車そのものが舞台というより、列車での出会いが殺人の発端
3. カサンドラ・クロス (The Cassandra Crossing)
 - ・列車内で感染症が発生し、乗客が次々と危険に晒されるパニックスリラー
 - ・殺人というより“死が迫る列車”だが、緊張感は抜群
4. ブレット・トレイン (Bullet Train)
 - ・2022年のアクションスリラー
 - ・殺し屋たちが同じ新幹線に乗り合わせ、次々と殺し合いが起きる

- ・スタイリッシュでスピード感のある作品

5. スノーピアサー (Snowpiercer)

- ・気候変動後の世界を走り続ける列車が舞台
- ・反乱と殺し合いが車両ごとに展開するディストピアアクション

評価：★★★★☆☆